

世界の遺跡を掘る

受講
無料



文化資源学とは、経済開発やグローバル化の進展で世界各地において消滅の危機に瀕している有形・無形の文化遺産を、新たな価値を創造するための「文化資源」ととらえなおし、その総合的・多角的な研究と保護・活用法の開発を行うものです。今回は、遺跡発掘に焦点を当て、世界各地の事例を紹介するとともに今後の課題を探っていきます。

第1回 7月26日(土)

古代ペルシア帝国の都を掘る

人間社会研究域歴史言語文化学系 准教授

足立 拓朗



第2回 8月3日(日)

ベトナムでチャンパ王国の都を掘る

国際文化資源学センター 特任教授

山形眞理子



第3回 8月9日(土)

中央アジアの仏教遺跡を掘る

―バーミヤンとアジナテパ―

人間社会研究域歴史言語文化学系 准教授

有村 誠



時間 各回とも14時～15時30分(90分)

主催 ■ 金沢大学地域連携推進センター

共催 ■ 金沢大学国際文化資源学研究センター

読売新聞東京本社北陸支社

期間 ■ 平成26年7月26日(土)～8月9日(土)(全3回)

会場 ■ 金沢大学サテライト・プラザ 3階 集会室

(金沢市西町三番丁16番地)

定員は毎回100名。事前申込が必要です。 申込方法は、裏面を参考にしてください。

講座開設にあたってのメッセージ

金沢大学地域連携推進センターは、大学と地域をつなぎ、レベルの高い連携による「知」の発信を創り上げていきたいと考えております。今年度からは、金沢大学は珠洲市と小松市にサテライトを開設し、インターネットを利用した「遠隔地教育システム」により能登地区や加賀地区の市民にも、魅力ある講演を提供できる体制を整えております。

今回は、前回に引き続き、読売新聞と連携して世界各地で消滅の危機に瀕している文化遺産について、「文化資源」として捉え保護や活用に活かす最先端の取り組みを、遠隔地教育システムを活用して石川県内の市民の皆様へ判りやすく紹介し、今後の課題などを皆様とともに考えていきたいと思っております。



金沢大学
地域連携推進センター長
横山 壽一



読売新聞
東京本社北陸支社長
大野 茂利

群馬県の富岡製糸場が、中国産の絹を西方に運んだ交易路「シルクロード」とともに世界文化遺産登録のニュースは注目を集めています。金沢大学は、世界各地の文化遺産を「文化資源」として捉え直して保護・活用する研究に力を入れておられ、今回の公開市民講座は「世界の遺跡を掘る」をテーマに実施することとなりました。遠い昔のペルシア帝国やベトナムの王国の繁栄ぶりや文化的価値の高さに思いをはせていただければと思います。

参加費は無料です。たくさんの方の受講をお待ちしております。

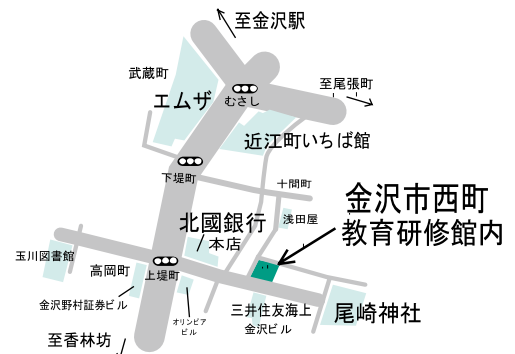
- 開催日時 おもて面をご覧ください。
- 会場 金沢大学サテライト・プラザ
(金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内)
- 受講対象 一般の方(高校生以上)
- 受講定員 100名 先着順
(定員に達し次第締め切らせていただきます。)
- 申込期限 7月25日(金)
締切日以降はお問い合わせください。
- 申込方法 事前申込が必要です。Eメール又はFAXでお申し込みできます。Eメールでのお申し込みの際は、お名前・ご住所・電話番号・受講希望講座をご明記ください。FAXの場合は、下の欄にご記入のうえ本紙をそのまま送信してください。

会場のご案内

金沢大学サテライト・プラザ

(金沢市西町三番丁16 金沢市西町教育研修館内)

金沢駅から バス(北陸鉄道)……約8分武蔵ヶ辻下車



※駐車場は数に限りがございますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用願います。

公開市民講座申込用紙

お名前	フリガナ	電話番号	
		FAX番号 (FAXで申込の方のみ)	
ご住所 (市と町名まで)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	受講講座	<input type="checkbox"/> 第1回 7月26日(土)
			<input type="checkbox"/> 第2回 8月3日(日)
			<input type="checkbox"/> 第3回 8月9日(土)
		受講を希望される回に○印を付してください。	
		受講された方には、記念品をお渡しします。	

※ご記入頂いた個人情報については、適切に管理し、本市民講座運営のために使用します。

◆お申込方法◆

FAX又は上記申込内容をEメールでお送りください。

FAX 076-234-4045 E-mail event@adm.kanazawa-u.ac.jp